

ふれあい

令和5年4月



緑鯨城会QRコード



本会は、会員相互の親睦を図り、かつ、生涯学習の一環としての学習活動を推進するとともに、地域活動に貢献することを目的とする

発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会
名古屋市高年大学鯨城学園
編集 | 緑鯨城会 広報委員会

目 次

表紙	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
目次	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
会長挨拶	令和4年度「鯨城会」総括	3
行事	「大須演芸場」2月寄席鑑賞会～初笑い～	4
ボランティア	雑巾ボランティア	5
34期生地域ミーティング	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
第13回鯨城会OB文化祭 開かる	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
同好会だより	朝の散歩会が貴方の参加を待ってます	7
	こんにちは！ パソコンクラブです	8
	陶芸サークル紹介	9
	緑鯨城健康体操	10
	緑ウォーキング同好会の報告と予定	11
	銭太鼓みどり同好会	12
	ゴルフ同好会	13
	うた声サロンみどり	14
	同好会「緑リズム体操」の紹介	15
	郷土の歴史を楽しんで一緒に散策しませんか！	16
	緑健康太極拳同好会の活動	17
自由投稿	俳句つれづれ（6）	18
緑区地域福祉事業功労者と言われても	・・・・・・・・	19
マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2023	・・・・・・・・	20
編集後記	・・・・・・・・	20

ふれあい87号（令和5年7月発行）原稿募集のお知らせ

テーマ：問いません（自由です）短歌・俳句・川柳含む

字数：450字～700字程度 短歌・俳句・川柳は2首迄

締め切り：令和5年6月1日

申し込み先：広報委員に電話、SNS、メールで

表紙の写真

大高緑地公園の梅林。16種類あり、八重寒紅、藤牡丹など早咲き遅咲きの梅があるため、時期により違う梅が満開となります。

「大須演芸場」2月寄席鑑賞会～初笑い～

行事委員会

2月3日「大須演芸場」2月寄席を鑑賞しました。当日は節分、大須観音は豆まき目当ての善男善女が沢山詣でていました。東仁王門通り、大須観音通り、万松寺通りなどはかなり混雑していました。開演は11時～13時30分で、場内は通常の席の配置（全員マスクしてました）で満員御礼の大入袋をいただきました。当然、2階席も満席です。

緑鯨城会からは16名の会員が参加し、複数人が抽選に当たりました。短冊に出演者のサインが書かれていました。外れた方には大須演芸場が刻印されたせんべいが渡されました。

番組は前座1席、講談1席、漫才1回、落語8席で、演者はこの地域の出身者（港区、緑区、春日井市、半田市、愛知環状鉄道の車掌）がいて、親しみが湧きました。

仲入り<休憩>の時、隣の会員の方と話が弾みました。84歳になるその方の健康法はこのような行事やイベントに参加することだと。なぜなら、目的地に行くまで歩き、周囲の風景に驚きも感じ、会場で感動する。と笑って話してくれました。

寄席らしく笑い笑い（特に女性の高い笑い声は華やかでいいなと思いました）の連続でコロナを笑い飛ばす初笑いとなりました。



令和4年度「鯨城会の総括」

緑鯨城会 会長 高野 孝



春風の候 新型コロナウイルス「第8波」の感染拡大も 本年2月以降減少傾向に転じ「ピーク」も過ぎ、3月13日以降は「マスク解禁」となりました。今年の夏は久しぶりにマスクなしの日常生活が望め、もはやアフターコロナが囁かれる今日この頃、会員皆様には如何お過ごしでしょうか。

3月6日には、3年ぶりに緑鯨城会新規入会の34期生13名が確定し、まさに「春光到来」の喜びでございます。

34期生の皆さんは、平成31年（令和元年）4月に鯨城学園入学、令和2・3年は、コロナ禍で休校、令和5年3月に卒業。実に足かけ4年の歳月をかけて卒業された強者（つわもの）ぞろい。まずは、ご卒業おめでとうございます。

さて、令和4年度の「鯨城会の総括」ですが、一言で言えば「3年ぶりの復活開催」の年だったと思います。鯨城会主催の行事 鶴舞、堀川清掃ボランティア、グランド・ゴルフ、16区フェスティバル、公開講演会 等。緑鯨城会においても、扇川の清掃ボランティア、緑区民まつり協賛事業としての「趣味の作品展」区役所講堂開催 等 いずれも「3年ぶりの復活開催」となりました。もう「コロナ禍による中止」は、過去の死語になりつつあります。

今年の干支は、飛び跳ねの卯年です。 令和4年（寅年）の「復活開催」の体験を糧にホップ、ステップ、ジャンプ…… 令和5年が、コロナ禍からの脱却となる起死回生の大ジャンプの年となる事を心より祈念したいと思います。

**ONE
TEAM**



雑巾ボランティア

ボランティア委員会

令和4年年末には毎年恒例の施設（事業所）に雑巾をお届けする行事を行いました。

毎年のことですが、雑巾の枚数が集まるかの心配でハラハラしていましたが、鯉城会会員のボランティアの皆様及び緑社会福祉協議会のボランティアの皆様のご協力により、1200枚余の雑巾が届きました。配達日は社会福祉協議会の会議室に配達員等が集合し、配達先の30施設のダンボール箱に雑巾各40枚、タオル各4枚を詰め込みました。

当日、梱包作業に緑社会福祉協議会・尾関宗男会長が立ち会っていただき、配達出発前には会長から緑鯉城会に対しての感謝状をいただきました。

配達には10名の配達員がダンボールを各自の車に乗せて各施設にお届けしました。

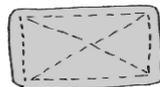
また、雑巾はコロナ禍のなか、消毒薬を含んだ除菌シートに取って代わられて、使われてないのではないかと懸念があり、配達員に使われ状況を施設の方に質問することをお願いしました。結果は杞憂でした。

「大変に感謝しています」と頭を下げられました。



お届けした施設は以下のとおりです。

- | | |
|---------------|--------------|
| 児童養護施設ゆうりん | 乳児院ほだか |
| 緑生福祉会 緑生苑 | 英楽会 楓林花の里 |
| 紫水会 オーネスト鳴海 | 風の会 ふきのとう |
| グループホーム かがやき | 樺の森 |
| 健生児童デイサービス | サニーベイルイン鳴海 |
| なごやかハウス滝の水 | 愛生福祉会 黒石荘 |
| コジマ会老健みどり | 夢未来 |
| 清水会ひかり | 清水会まこと |
| みどりみんなの家 | 那爛陀学苑 |
| なるみ作業所 | ゆたか希望の家 |
| ゆたか希望の家 | デイサービスセンター浦里 |
| 鳴海聖園天使園 | みそのラファエルこども園 |
| サポート being 緑親 | アネモネ鳴海事業所 |
| アネモネ鳴海事業所 | アネモネ平子事業所 |
| 日中活動センターさくらそう | |
| グループホーム 池上台 | |



朝の散歩会が貴方の参加を待っています

今日も一日盛りだめいていよう



伊藤一夫
876-7838

毎週土曜日 AM 7:00に『滝の水緑地の四阿前』^{あずまや}に集合して、クヌギ林の散歩道を潜り小高い『滝の水緑地』の頂上を極めてツツジの遊歩道を通って下山し、小川を跨いで『滝の水小学校』の東門前で何時もの優しいゴールデンレトリバーの出迎えを受ける。

急坂の『滝の水公園』の南側階段を登り、山頂から御嶽山遠景を横目に見て、『滝の水公園』山頂を半周して伊吹山を眺めつつ公園西階段を下りる。ここまでで手持ちの万歩計は 5,000歩を示す。公園前の喫茶店『ガロン滝の水店』で何時もの指定コーナーに総員11名がモーニングコーヒーを啜る。痺れる笑顔のマミちゃんに会いたくて会員達11名はセッセと通い始めて18年になる。気が付いたら独身でお嬢さんだったママのマミちゃんも幼稚園に通う1児の母に収まっている。

1986年(S61/4) に名古屋市高年大学鯉城学園がTV塔西側の名古屋市教育館で産声を上げました。全国政令指定都市で最初に立ち上げた名古屋市には当時全国から各幹部たちが視察に訪れたと言われています。この鯉城学園の発足は文化学科・生活学科・園芸学科の3学科各40名の定員で120名の新入生が当時12倍の競争率を潜って入学式を迎えたのです。それから37年目の新入生を今募集中です。昔日の競争率の面影はありません。定員割れで二次・三次募集が展開中です。

翌年卒業生を送り出すに当たって、OB会を立ち上げて欲しいとの副学長伊藤隆先生に背中を押されて最初に鯉城会を立ち上げたのが『緑鯉城会』だったのです。大高にお住まいの生活学科2期の故『寺尾靖一郎』氏のご尽力により『緑鯉城会』15名が学園設立の3年後に立ち上げています。我らが朝の散歩会は直ぐその後を追っかけて設立した伝統のある同好会です。貴方の御参加をお待ちしています。遠くの方はガロン駐車場に車を預けて散歩に出発します。

現会員 期 別 ☎

- | | | |
|-----------|--------|----------|
| 1. 渡瀬章司 | 5 園芸 | 896-7338 |
| 2. 國井正敏 | 16 園芸 | 895-0812 |
| 3. 伊藤一夫 | 20 園芸 | 876-7838 |
| 4. 青井玲子 | 23 福祉 | 876-8574 |
| 5. 上部君江 | 24 地域 | 896-7029 |
| 6. 近藤仙治 | 25 環境 | 876-1352 |
| 7. 古橋治男 | 25 地域 | 877-0870 |
| 8. 竹内和枝 | 26 地域 | 891-6078 |
| 9. 蟹江喜代子 | 27 健康 | 623-7002 |
| 10. 近藤比呂史 | 30 地域A | 621-2590 |
| 11. 鎌田次雄 | 30 生活B | 986-7075 |



地域ミーティング（34期生）

総務委員長 杉崎 四郎（32期 国際B）

令和5年1月20日、鯨城学園で緑区在住の34期生（令和5年3月卒業予定）を対象として、区会説明会が開催され、37名中27名の出席があり、期待を上回る出席率でした。

緑鯨城会から会長以下各委員会委員長が出席し、緑鯨城会の組織、概要、各委員会の現況活動、今後の入会手続き等の説明をしました。

出席者においては、熱心にメモを取る人も見受けられ、多くの人の緑鯨城会への加入が期待されます。

コロナ禍影響で緑鯨城会の活動が中停止され、鯨城学園卒業生が2年間も無く、大きく会員の減少を余儀なくされて来ました。やっと迎い入れる卒業生です。多くの新会員が加入し、緑鯨城会に入って良かったと後々言われるように、緑鯨城会の活動を活発化して行きたい。

3月25日（土）に新入会会員の入会説明会を行います。



第13回鯨城会OB文化祭 開かる

3月9日、第13回鯨城会OB文化祭が伏見ライフプラザ5階鯨城ホールで行われました。

主催は実行委員会です。会場はコロナ感染防止のため、マスク着用・手指の消毒・検温の励行でした。入場は350名迄と制限されてました。満員近くの賑わいでした。

午前は鯨城ダンスOB会、豊岳吟詩「オレンジ会」、フラダンスクラブアロハ鯨城、鯨城オカリナOB会の4団体。午後はこじょう混声合唱団、中川コーラス・コスモスクラブ、高年大学太極拳同好会、鯨城民謡クラブ同好会、鯨城会ハーモニカを楽しもう会の5団体が熱演しました。

コロナ禍の中、練習会場の確保、感染防止の対策など困難を乗り越えて、ここまで漕ぎつけた皆様に敬意を表したい気持ちで一杯でした。来年も期待しております。



こんにちは！ パソコンクラブです

パソコンクラブでは、ここ2、3年はコロナ禍の下で休講や二部制を取るなど不規則な状況が続きましたが、やっと今年から普段通りのリズムに戻り、男性6名、女性6名の12名で和気あいあい楽しんで活動しております。

また、教室はWi-Fiの環境が整っていますし、加えて講師は明るい気さくな先生でプロジェクターを活用して懇切丁寧に指導して下さいます。しかも希望すれば全体での講義終了後、特別に個別指導を受けることもできます。

現在は市販本の「演習問題集」を基にWordによる文書作成のスキルアップに取り組んでいます。ただ、過去に文書作成の基本的な機能と操作を学んだはずですが、なかなか思い出すことができない



のが現状です。

それでも講師の説明を聞き、悪戦苦闘しながらも完成図に近いものができた時の“喜びや達成感”には格別なものがあります。

ともかく、脳の衰えをできるだけ防ぐと共にイメージ通りの文書を作り上げるスキルを習得することを目的に日々奮闘している昨今です。



会員募集中です！！

ぜひ一度見学に来て下さいね！（※申込みは代表まで）

<代表> 藤原 曠 (21期) ☎623-1939



陶芸サークル紹介

柏原 秀一 (21期 園芸)

現在の会員は17名(男7名、女10名)で、火曜日の午後(2週目は月曜)に、緑生涯学習センターで陶芸をしています。講師はなく自由に「焼き物作り」を楽しむ会です。

焼き物の成型から焼成まで全ての工程を自分達で行っており、その内容を工程に沿って紹介します。

1. 構想 どんな物を作るかを考えます。形(うつわ、花器、人形等)、大きさ、装飾をイメージして、図面を描いたりもします。

2. 成型 材料の粘土を手の指で自由に形を作る「手びねり」、「ひも作り」や板状の粘土で型を使って成型する「タタラ」、電動の「ロクロ」等で形を作ります。

3. 装飾 素地の表面に「櫛描き」や「印花」等で直接立体的な模様を付けたり、刷毛で「化粧土」を塗り模様にしたたり、濃淡や、かすれを出したりもします。

絵付けは素焼き後釉薬を掛ける前に、下絵の具で「絵や模様」を描きます。

4. 施釉 素焼き後釉薬を掛けます。釉薬は高温で溶けてガラス状になり、水や汚れの沁み込みを防ぎ強度を高めます。釉薬を使い分けたり、一部だけ塗ったりする事で、様々な色や質感を表現することが出来ます。

5. 焼成 窯焼きは当番制で偶数月に行います(現在はコロナの影響もあって年3回です)。

窯入れは作品の形や大きさがバラバラなので、配置を工夫して窯に詰めます。

素焼きは釉薬を掛けたときに作品が崩れるのを防ぎ、本焼きは高温で釉薬を定着させます。

窯焼きは、ガス圧を調整しながら、ゆっくりと温度を上げていきます。

素焼きは8時間、本焼きは12時間程度で焼き上げます。

本焼きが一番大切な工程で、良くも悪くも本焼きで決まります。(火の神様、宜しくお願ひ致します)

6. 完成 本焼き後数日で作品を取り出して完成です。完成後に作品の色合いや質感が思い通りに仕上がった時は、嬉しいものです。その様なことは、あまり有りませんが、それなりに「味」があり、それが陶芸の面白いところです。

窯出し後の作品鑑賞で、良かった点や思惑外れの事等の反省会も楽しみの一つです。

作品は緑鯨城会の「作品展」や緑生涯学習センターの「センター祭り」に会として出展しています。

* 教室はあまり堅苦しくなく、相談をしたり雑談を交えて、各人のペースで作陶に励んでいます。

* 陶芸は結構頭を使ったり身体を動かしたりするので、健康的な活動です(認知症予防にも?)。

* 興味を持たれた方、趣味の1つに陶芸を加えてみませんか? 初心者大歓迎です。



健康体操同好会

熊田八郎 (29 期 文化A)

平成 29 年春 (2017/3/24) に入会し、健康の維持、会員間の交流等、楽しく活動を続けています。以下に、私の知っている健康体操同好会を簡単に紹介します。どうぞ参考にしてご参加ください。実施内容は、準備体操、音楽に合わせてのダンス、ストレッチ運動、脳トレを含めた指や手足の運動等々、途中 2 回の休憩を入れて 1 時間 30 分です。少し汗ばんでくる程度です。

コロナ禍で、3 ヶ月間程巣ごもり状態になった時、私は体が固まったように感じた事に驚き、出来るだけ散歩する等、体を動かすように努めました。

月に 4 回、金曜日、10 時からの活動です。以前は、1 か所で行われていましたが、今は、社協や緑スポーツセンターや生涯学習センターを予約して、実施しています。

幹事の方々の会場予約取りのお骨折りに、感謝しています。

年に 1 回、発表会出場があります。発表会参加の為に、新プログラムを覚えて、実施します。覚える事が苦手になっている自分は、1 週間たって、同じ失敗を繰り返す等しながら、老化防止のためと思って、頑張っています。

それから、時々懇親会が催されます。私の思い出深いことは、令和元年 9 月の「栗拾いとグルメの旅」です。沢山の栗を拾った事とお土産に栗を頂き、それを皆さんに配って、とても喜んでもらったことです。(今年の秋も、同様な懇親会を計画しているとの話を聞いています。)

また毎秋、あいち健康プラザで、健康度評価を受ける行事があります。自分の体の状態を知る事が出来て、大変有意義なことと思っています。

指導してくださるのは、女性の七里先生です。とてもお元気で、高齢者の私達を、色々と気使いつつ、親切丁寧に、冗談を言って笑わせたりしながら、教えてくださいます。

とにかく、人生百年時代、健康で過ごす事が、最高だと考えます。好きなことを、今後も継続出来るよう、健康体操同好会活動を、引き続き頑張っていきたいと思っています。



今年から代表に就任しました31期・上野です。出欠の連絡がほぼ不要な、気軽に参加出来る同好会です。手軽に体力維持ができ、様々な地域の風物に触れることが出来るウォーキングを是非一緒に楽しみましょう。

2022年11月30日(水) モリコロパーク 15名参加



前日の雨が激しかったので心配でしたが、薄っすらと青空の見える天気に戻りました。今日はモリコロパークに11月にオープンした「ジブリ」の施設が近くに点在する整備された5kmウォーキングコースを散策しました。

2023年1月30日(月) 南区 #1 10名参加



●地下鉄妙音通駅に9時集合し、南区に詳しい仲間の方の案内無しでは辿り着けない細い道を縫うように法泉寺・安泰寺・熊野三社・富部神社・笠寺観音と進み、笠寺公園で昼食後・一里塚・泉増院・(やごとみち)・桜本町交差点にて13:10解散 本日は何時もとは違った名古屋の発祥と言われる「松巨嶋」の歴史を辿るウォーキングでした。

これからのウォーキング案内

※-----

2023年 4月30日(日) 猪高緑地 歩行距離 6km (弁当持参)

集合場所・時間：地下鉄東山線本郷駅改札口 10:05 集合 集合場所まで[鳴子北 9:20→今池 9:46→9:50 本郷]

平針からの参加の場合 [9:40 平針バス停→10:04 障害者スポーツセンター]

行程：本郷バス停(猪高緑地行)→障害者スポーツセンター…長湫越し…展望デッキ…親鸞山…

ハンノキ湿地…スポーツセンター (終了およそ 14:30)

☆-----

2023年 5月30日(火) 愛知池一周 歩行距離 7km (弁当持参)

集合場所・時間：地下鉄鶴舞線赤池駅ホーム上 9:45 集合 集合場所まで:[鳴子北 9:05→御器所 9:27→9:43 赤池]

行程：赤池駅→米野木駅…愛知池周回…愛知牧場…黒笹駅 (終了およそ 14:15)

※-----

2023年 6月30日(金) 豊田自然観察の森 歩行距離 5km (弁当持参)

集合場所・時間：地下鉄鶴舞線赤池駅ホーム上 9:20 集合 集合場所まで:[鳴子北 8:40→御器所 9:03→9:18 赤池]

行程：赤池駅(豊田市駅行)9:23→豊田市駅→おいでんバス豊田渋谷線 豊田東バス停 9:58→10:15 東山町5丁目…

ネイチャーセンター…展望台…セミの交差点…ヨシの湿地…ネイチャーセンター

終了復路：[自然観察の森 13:45] または [東山町5丁目 14:50]

毎回の
注意事項

服装・持物 : 帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・敷物・保険証・(*弁当) 等
前日の天気予報で9時~15時までの降水確率が40%以上は中止です!

銭太鼓みどり同好会

代表 巽 幸子（26期 福祉）

2月25日14時30分～14時45分。徳重地区会館 体育室において、私達、銭太鼓みどり同好会はステージに立ち、お客様の前で演奏することができました。この3年間、コロナ禍の影響で練習する事すら儘ならない状況の連続でした。それがお客様の前で①キヨシのズンドコ節②お祭りマンボ③花笠音頭の3曲が演奏でき、軽快なリズムに合わせたお客様の拍手に感激いたしました。

平成28年に発足した銭太鼓同好会も多い時は13名いましたが、今年の4月からは8名になります。いつまで続ける事ができるかわかりませんができる限り頑張りたいと思っています。おしゃべりしながら、ゆるりと楽しく練習をしていますので、興味のある方は是非見学にお越しください。

4月から練習日は第1、第3の水曜日午後1時から緑福祉会館で行います。

「銭太鼓の由来」

『銭太鼓とは出雲地方（現在の島根県）に古くから伝わる民族的なリズム楽器で1本の筒の中に6個の5円玉が入っており2本合わせると12個で、1年を表し1年間の幸せをもたらすという言い伝えがあり、右手に持つ赤色は太陽を表し左手に持つ白色は地球を象徴していると言われ天と地の恵みを表していると言われています。』



ゴルフ同好会 (MKG)

代表 原田 良昭 (29期 地域B)

ナイスショット！大きな声が新緑、葉光る夏山、そして山紅葉の中へ響き渡ります。

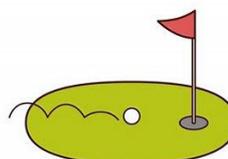
私たちゴルフ同好会は年3回と「鯨城会3区会」年2回の計5回のゴルフを移り行く季節の中でプレーを楽しんでいます。

上司と部下、先輩と後輩等のしがらみがない中で、心行くまで大きな声を張り上げ思いのたけを語りながら、グリーンフィールドを右に左にある時は余裕で歩き、またあたふたと走りながらプレーを楽しんでいます。

近年はコロナの影響で開催が出来ない状況でしたが、また開催できる状況になってまいりましたので早速桑名国際ゴルフ倶楽部で本年第一回を開催します。

豪快なドライバーショット、OB、チョロと多彩な変化球を打って楽しみたいと思います。

以前プレーして現在は休んでいる方、継続しているが入会していない方、在校生でゴルフの好きな方、入会を希望する方ぜひ同好会に参加して我々24名と大自然の中で思い切り叫び心と体の健康を保ちましょう。「ナイスショット！」



うた声サロンみどり

小澤 徹昭（26期 文化A）

緑鯨城会の紳士（ジジ）、淑女（ババ）の皆さん、青春してますか？

うた声サロンみどりでは2018年7月に発足してから、青春真ただ中のジジ・ババが、明治、大正、昭和、平成の唱歌、歌謡曲、フォークソングなど昔なつかしい歌をみんなで歌って楽しいひと時をすごして居りましたが、あのコロナの影響でここ3年ほど数えるほどしか開催しておらず、ほぼ休会状態でしたが、2023年3月から再開しました。

伴奏はギター2本とキーボードなので試行錯誤しながら月2回の開催です。楽しいですよ。

厳格な(?)参加条件

歌のうまい、下手は関係ありません。歌うことがだーい好きなことだけです。

歌は世につれ、世は歌につれ、と申します。

老いたる者には過ぎにし青春の郷愁を、若人には呼べど帰り来たらぬ古の幻を！

さあ、懐かしい歌を大きな声で歌って、あの胸キュンなころを思い出しましょう。

日 時 毎月第1、第3木曜日 10時から11時30分

場 所 緑生涯学習センター 3階視聴覚室（替わることがあります）

参加費用 3か月毎に1000円 歌集 500円

申込先 小澤徹昭 26期文化A フォークソングクラブ

Email js2ifl@gmail.com

ショートメール 090-8078-6693

変な勧誘電話が多いのでメールのみの受付です。

サロンの会員をご存知の方はその方経由でも結構です。

お名前・期別・学科名・クラブ名

同好会「緑リズム体操」の紹介

緑リズム体操代表 市川 滋 (22期 陶芸)

無理なく楽しく健康体操に、参加しませんか

緑リズム体操の発足は、平成24年4月に相原郷公会堂が完成と同時期に、22期鈴木順子さんと21期掛川和子さん等が中心となって、鯨城大学顧問の池田先生には9年の指導を受けて、引き続き稲垣奈緒美先生の指導を受けて丸3年となり、通算11年目を迎えることが出来ました。

この同好会は鯨城大学卒業生を主として活動して来ました。

私達の同好会は毎週月曜日の10時から、11時半まで月4回実施しています。

健康にはよく食べて、軽度の運動と快眠が必要ですが、健康の一番の元は、身体作りにあります。そして、「気軽に」「無理なく」「楽しく」をモットーに、友達作りの社交場です。

健康体操は卒業生の交流場として、情報の共有して楽しみながら親睦を深め、お互いの健康維持の向上を図ってきました。

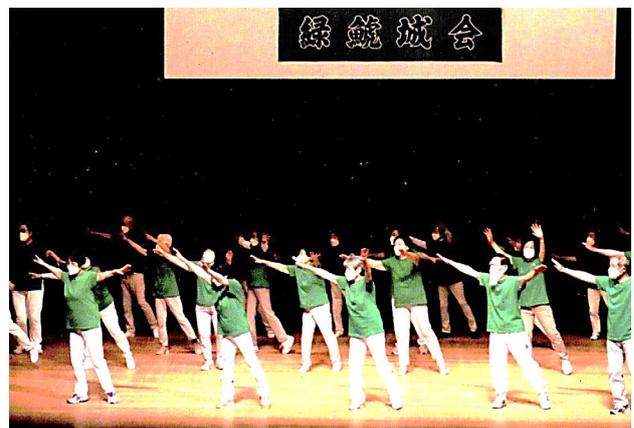
また行事として年1回の新年会と総会を木曾路鴻仏目店で食事会をしています。

現在の会員は35名弱となって、年々減少傾向にあります。仲間の中には90歳を迎えても、元気に参加しています。工藤さんと安江さんには、本当に頭が下がりますが皆さんが目標にしています。コロナ禍の時は高齢者が多い為、一時お休みしたり、期別毎に分けて二部制にして、健康が一番でしたので対応を図ってきました。

私達の同好会は、日々、無理なく楽しく健康体操して来ましたが、仲間作りのチャンスであります。

私達と一緒に心豊かなシニア生活をエンジョイしませんか？

まずは体験から、いつでもOKです。入会をお待ちしています。





郷土の歴史を楽しんで一緒に散策しませんか！

同好会「郷土の歴史を楽しむ会」

令和元年7月に誕生。緑区が歴史の宝庫でありながら、我が緑鯉城会に同好会がありませんでした。そこで歴史好きな仲間と一緒に郷土の歴史を学びたいという思いから発足。参加者8名の総意により同好会名を「郷土の歴史を楽しむ会」としました。現在の在籍は26名、月1回、原則第1火曜日の午前中に郷土の歴史探訪散策をボランティアガイド付きで、入会費・会費なし、実施の都度資料代100円の条件で、参加して「良かった、楽しかった」の声を励みに実施しております。

当同好会の特徴は、まず、少し深堀の室内外歴史学習の実施に心掛けていることです。散策地を絞り、郷土愛に溢れたボランティアガイドによる中身の濃い学習を楽しんで貰うことに留意。

ラインを活用することで諸案内、出欠の把握などスムーズな運用にも留意しています。また、ランチと午後の散策はオプションにしております。

足かけ5年の間で途中コロナ感染の影響もあり9回の実施が出来ない中、発足当時の会員の意向に沿って、戦国時代の歴史学習を中心に、市内散策を緑区の6回を始め合計16回、市外現地学習は愛知県下6回（長篠城、犬山城巡りなど）を始め岐阜（岐阜城）、滋賀県（関ヶ原古戦場など）合計9回、室内学習会6回行って参りました。

今後は戦国時代に捉われず、広く「文化や暮らし」についても学習の目的に加え、多くの方が楽しめる歴史散策にしたいと思っております。

郷土の歴史好きな方、興味をお持ちの方は是非お気軽にお問合せ下さい。

代表 近藤比呂史 (30期 地域A)
☎ : 080-3688-2590 aidf2590@gmail.com

事務局 奥野 幸泰 (31期 生活A)
☎ : 090-6093-0183 yukiar1105@outlook.jp



- * QRコードから同好会活動情報をご覧ください
- ・ガイドボランティアさんと共に学びながら散策しています
何度か行ったけど知らなかった…新しい発見！があります
- ・トライアル参加も大歓迎です!!
コロナやフレイルに負けず、楽しく活動しましょう



同好会 郷土の歴史を楽しむ会

“輪・和・笑”を大切にして、楽しい同好会にしていきたいものです…

緑健康太極拳同好会の活動

ニイハオ！ 緑健康太極拳同好会の活動をお知らせします。太極拳同好会はおかげさまで設立から4年たちました。佐藤代表（26期）を中心に18期から32期までの30名の会員が活動しています。揚名時、八段錦、24式太極拳を練習、演舞しています。太極拳同好会の目的は高齢者の健康維持（転倒防止等）に役立ち、ふんわりした健康体になることを目指しています。これらは会員が実感しています。継続は力です！コロナ禍で会場を借りることが出来ない時は滝の水公園で演舞しました。アフターコロナとして他の地区鯉城会太極拳同好会とも交流し技量アップしていきたい。会員間の交流、親睦を図り緑鯉城会の同好会して精進していきます。

*体験入会 随時受付中です。

*連絡先 佐藤義人 080-1618-4447

謝謝！



俳句コーナー

雪冠り赤い木の実の鮮やかさ



熊田 八郎
(29期 文化A)

昼さがり金黒羽白だんらんちゅう



熱爛の強き匂ひにすでに酔ふ

稜線に居座る雲の嵩や冬

平田 秀 (30期 文化A)

俳句つれづれ（6）

平田 秀（30期 文化A）

この稿を書いている時はちょうどコロナ禍3年目となります。無趣味な私に俳句で無聊を慰めることになったのです。毎週何句か必ず作ることを最低限として3年になります。俳句の先輩諸氏からは当たり前のことかもしれませんが、継続して作句するという事は結構難儀なことでした。今回は作句の過程の中で「推敲」の作業について考えてみました。思いついたことを取り敢えず575の句にすることを「原句」とすれば、それをより良い句にする過程が「推敲」と言えましょう。最近では、原句にいろいろ手を加えることも楽しみの一つです。もともと「推敲」とは、ご存じのようにある学徒が「僧は推す月下の門」という一句に「推す」のほかに「敲く」という言葉を思い付きどちらがいいか悩んだと言う中国故事に因んだもので、結果、漢詩の大家から、この場合は、音を響かせる風情があって「敲く」がよいとなりました。このように、字句を良くするために、練り直す作業に時間をかけるようになってきました。

「原句」 百日紅空に突き上ぐ枝に風

「推敲後」 突き上ぐる枝に風あり百日紅



百日紅の上枝がによきによきと花をつけながら空を突くように伸びている。その枝に風が揺らせている。枝の強さを題材にしたものです。「原句」では、季語の「百日紅」（さるすべり）を上五に持ってきたことで、切れ（や）がないため、散文的になってしまいました。季語の補足説明です。むしろ、枝の強さを風に託しているのですからこれを言い切ってしまう上五、中七にして、季語で押さえることとしました。枝の風に耐える強さと季語の「百日紅」で風景が見えるようになりました。上五に切れがない場合は、季語の説明になって奥行きがなくなります。

「原句」 旨そうな葉付大根並ぶ市

「推敲後」 朝市や葉付大根青々と

「原句」典型的な私の感想になってしまいました。朝市に出掛けて採りたての瑞々しい葉をつけた白い大根はとっても旨そうです。おでんなんかにしていただくと絶品です。でも、それを言ってしまうと、句だけで終わりになってしまいます。読む人に描写から「旨そう」と思ってもらわなくてはいけないのです。俳句は辛抱強いです。（笑）



「原句」 園児らの砂場を包む小春かな

「推敲後」 園児らの集まる砂場小六月

小春日和を待ちかねたように園児たちは砂遊び楽しんでいる。ただそれだけの「句」です。それでも穏やかな日和に子どもたちの遊ぶ様子が感じられるという、季語に頼る「句」です。少し考えますと、「小春」から連想で「包む」は省略出来ます。それならば、季語選びが大事で、「小春」か「小六月」になりますが、かわいい「小春」よりは、時節的な情感を持つ「小六月」しました。園児ということで、すでにかわいいのです。近寄り過ぎるのも奥行きを無くします。

緑区地域福祉事業功労者と言われても・・・

馬越 求 (19期 福祉)

緑区地域福祉事業功労者という、^{いか}厳めしくも思いがけない緑区社会福祉協議会会長表彰に驚いている。緑鯨城会の先輩たちに、この表彰にあずかった人がいると聞いたこともなく、私がそれに値することをやってきたかどうか疑問である。ただ、平成16年4月から名古屋市高年大学鯨城学園で学んだ2年間に、自分の好きなことを学び友達をつくるだけではなく、卒業後は、地域のために何らかの貢献ができる人になれるということは、常に言われていたように思う。

緑鯨城会会則には、会の目的の一つとして地域活動に貢献することが掲げられており、平成18年3月鯨城学園卒業の翌月から、当然のことのよう^{もろ}に緑鯨城会の一会員となり、会の設立趣旨に沿って活動を続けてきたつもりである。いつの間にか17年の歳月が流れ、その間の記憶は、もはや遙か霧のかなたに^{もうろう}朦朧として^{さだ}定かでない。物忘れや勘違いが多くなるのは、高齢になればやむを得ないことであろう。幸いにも比較的^い健康には恵まれて、緑鯨城会の中で私のやってきたことが、今回、それなりの評価を受けたことを素直に喜ぶたい。

長年積み重ねられてきた緑鯨城会の実績評価があつてこそ、今回の受賞であることはいうまでもない。真に私がそれに値するかどうかは別として、今日まで緑鯨城会を支えてこられた皆様に心から感謝申し上げ、人生最終章への^{いろど}彩り・励ましと解して、謹んでこの身に余る^い栄誉に浴することとしたい。

令和5年3月2日快晴。 緑区地域福祉事業功労者等顕彰式典は、「緑区福祉のつどい」第1部として執り行われた。場所は、徳重地区会館体育室（ユメリア徳重4階）。その後、第2部福祉講演会では、盲目の落語家 ^{かつら}桂 ^{ふくてん}福点氏の「^い出会いは心の光 ～障がい者理解をひろげるために～」と題する講話を拝聴した。



マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2023

3月12日、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2023が開催され、緑鯨城会は名古屋シティマラソン10Kの部の9K付近（瑞穂区弥富通）でコース整理のボランティア活動（参加者は27名）をしました。コースは交差点を左折する危険な箇所なので、道路上に警察の車が止まり柵を設置して、交通整理をしていました。10Kの部のランナー数は約3000名、色とりどりのウェアで若者から年配の方が私たちの目の前を走り過ぎていきました。声援を送ると手を振り、声でも応えてくれました。最後尾の車が通過してから設置したカラーコーン、コーンパー、コーステープを回収し、無事に任務を終了できました。



編集後記

天災とも言えるコロナ禍の三年間、生活様式が変化しつつあると感じるのは私だけでしょうか。リモートワーク、オンライン会議とオンライン授業が現役世代では当たり前となってきました。取り残された老境の私達は嫌でもスマートフォンやパソコンを使うことができるある程度の知識を身につけないと、極端ですが生きて行けなくなるような気がしています。仲間たちと語り合い、協力しあいながら前向きに過ごしていきたいと思います。寄稿にご協力いただきました皆様ありがとうございました。

広報委員会

3 2期 廣瀬 義忠 090-7611-6755 bibi@carrot.ocn.ne.jp

3 3期 亀井 恒夫 070-4377-1465 k_thskt7571@qc.commuqa.jp

3 1期 奥野 幸泰 090-6093-0183 yukiAR1105@outlook.jp

2 5期 水谷 健二 090-2617-4782 nwjh2gla@gmail.com

2 9期 熊田 八郎 090-9918-9034 balangxiongtian@gmail.com

* 2 5期水谷さん・2 9期熊田さんは、広報サポーターとして参加をお願いしております。

緑 鯨 城 会 オ リ ジ ナ ル ホ ー ム ペ ー ジ



<https://midori-kojyo1989.jimdofree.com>

スマホ・タブレット・パソコンから閲覧(QRコード&URLからアクセス)